

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公開番号】特開2009-113151(P2009-113151A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-288598(P2007-288598)

【国際特許分類】

B 25 C 5/16 (2006.01)

B 25 C 5/02 (2006.01)

【F I】

B 25 C 5/16

B 25 C 5/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月5日(2010.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コの字状の複数のステープル針が接続されたブロック状のブロック針からステープル針1本を分離して被綴じ部材に打ち込む打ち込み手段と、

前記打ち込み手段と対向して位置し、前記打ち込み手段によって前記被綴じ部材に打ち込まれた前記ステープル針の先端部を受け止めて折り曲げることにより、前記被綴じ部材を綴じるクリンチ手段と、

補充用ブロック針が収納される収納手段と、

前記収納手段に収納された前記補充用ブロック針を前記打ち込み手段に供給可能な供給位置に移動させる移動手段と、

前記供給位置に移動させられた前記補充用ブロック針を前記打ち込み手段に送る送り手段と、を備え、

前記移動手段は、前記送り手段が前記ブロック針を前記打ち込み手段に送るブロック針送り方向と交差する方向に、前記補充用ブロック針を移動させるものであって、

前記収納手段は、前記交差する方向に前記補充用ブロック針を並べて収納可能である、ことを特徴とするステープラ。

【請求項2】

前記収納手段は、前記複数の補充用ブロック針を重ねた状態で収納可能なケーシングであり、

前記移動手段は、前記補充用ブロック針を前記ケーシング内で上昇させる上昇部と、上昇させられた該補充用ブロック針を前記ブロック針送り方向に対して交差する方向に前記ケーシングから前記供給位置に移動させる移動部と、を備えた、

ことを特徴とする請求項1に記載のステープラ。

【請求項3】

前記収納手段は、前記ブロック針送り方向と平行な回転中心軸を中心にして回転可能に前記ステープラの装置本体に設けられた回転体であり、

前記回転体は、前記ブロック針送り方向と平行に形成されて前記ブロック針を収納する複数の収納部を備え、

前記移動手段は、前記回転体を回転させて、前記収納部に収納された前記ブロック針を前記供給位置に停止させる回転駆動機構であり、

前記送り手段は、前記回転体に設けられて前記ブロック針を前記打ち込み手段側に付勢する付勢部材である、

ことを特徴とする請求項1に記載のステープラ。

【請求項4】

前記ケーシングは、前記ステープラの装置本体に着脱可能に設けられている、

ことを特徴とする請求項2に記載のステープラ。

【請求項5】

前記回転体は、前記ステープラの装置本体に着脱可能に設けられている、

ことを特徴とする請求項3に記載のステープラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明のステープラは、コの字状の複数のステープル針が接続されたブロック状のブロック針からステープル針1本を分離して被綴じ部材に打ち込む打ち込み手段と、前記打ち込み手段と対向して位置し、前記打ち込み手段によって前記被綴じ部材に打ち込まれた前記ステープル針の先端部を受け止めて折り曲げることにより、前記被綴じ部材を綴じるクリンチ手段と、補充用ブロック針が収納される収納手段と、前記収納手段に収納された前記補充用ブロック針を前記打ち込み手段に供給可能な供給位置に移動させる移動手段と、前記供給位置に移動させられた前記補充用ブロック針を前記打ち込み手段に送る送り手段と、を備え、前記移動手段は、前記送り手段が前記ブロック針を前記打ち込み手段に送るブロック針送り方向と交差する方向に、前記補充用ブロック針を移動させるものであって、前記収納手段は、前記交差する方向に前記補充用ブロック針を並べて収納可能である、ことを特徴としている。